

その変更依頼、 本当に取引先からですか。

重要変更の確認を、担当者の勘から会社のルールへ。

J-Trustify

株式会社 TrustChain Japan

重要変更の確認

受信

取引先からの連絡

「振込先を変更しました」



事前に登録した確認先へ送信

内容を確認し、ボタンで回答



確認済

日時・内容・結果を記録

その変更、今どう確認していますか？

既存の取引先から届く「重要な変更」は、日常業務の中で突然発生します。

1 振込先の変更

「来月からこの口座へ
振り込んでください」

経理

2 請求条件の変更

「請求方法・送付先を
変更してください」

経理 / 総務

3 契約・発注内容の変更

「契約条件・発注内容を
変更してください」

購買 / 管理

確認方法が担当者ごとに違うと、重要な変更ほど「誰が・どの方法で・何を確かめたか」が曖昧になりやすい。

今の確認業務に起きやすい3つの課題

電話やメールそのものが悪いのではなく、「会社としての確認手順」が揃っていないことが問題になります。

01

属人化

- 確認先や方法が人によって違う
- 担当者が休むと運用が止まる

02

確認の手間

- 過去メールや連絡先を探す
- 急ぎの変更ほど省略されやすい

03

記録が散らばる

- 電話・メール・メモに分散
- 後から確認経緯を追いにくい

確認という「行為」はあっても、手順と履歴が会社の資産になっていない。

J-Trustify なら、確認を 1 つの手順に

連絡元そのものを信じ切るのではなく、事前に登録した確認先を使って確かめ、結果まで残します。



ポイント：確認先をその場で探すのではなく、「前から分かっている確認経路」を使う。

担当者の勘から、会社のルールへ

J-Trustify は「安全と断定する」のではなく、重要変更を確かめる会社の手順を作ります。

BEFORE

確認方法 担当者ごとに異なる

記録 電話・メール・メモに分散

引継ぎ 経験や記憶に依存

AFTER

確認方法 会社の手順として統一

記録 確認履歴をまとめて保存

引継ぎ 経緯を後から追える

重要変更の確認を、担当者の勘から会社のルールへ。

取引先側もシンプル

確認依頼を受けた相手は、専用画面で変更内容を確認し、回答できます。

依頼する側

- 1 変更内容を入力
- 2 取引先の確認先を選択
- 3 確認依頼を送信
- 4 回答を履歴で確認

J-Trustify

確認依頼

振込先口座の変更

この変更を依頼しました

この変更に心当たりがありません

回答後、依頼側の履歴に結果を反映

※ 画面は説明用イメージです

現在、実証検証（PoC）にご協力いただける企業を探しています

まずは実際の業務で使っていただき、使い方・運用・改善点を一緒に確認します。

お願いしたいこと

- 実際の変更確認を1～3件程度試す
- 使った担当者の感想を教えてください
- 取引先側で分かりにくい点を確認する
- 終了時に、有料化する場合の条件感を伺う

ご提供すること

- PoC 期間中の利用を無償でご案内
- 初期設定・運用方法を一緒に整理
- フィードバックを改善に反映
- 実証後の条件は終了時に個別にご相談

対象例：企業間取引が多く、経理・総務・購買で「取引先からの変更依頼」を受ける企業

会社概要

J-Trustify を運営する株式会社 TrustChain Japan について

会社名	株式会社 TrustChain Japan
サービス名	J-Trustify
代表取締役	グンデウズ タハ
事業内容	企業間の重要変更確認を支援する B2B SaaS の開発・提供
Web	trustchainjapan.com
Contact	info@trustchainjapan.com
所在地	〒 261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目 6 mBAY POINT 幕張 低層棟 2F

人を疑うためではなく、企業間の信頼を守るために。

※J-Trustify は確認の手続きを支援し記録するツールであり、取引内容の真実性や不正の完全な防止を保証するものではありません。※当サービスは公的機関の認定・推奨を受けたものではありません。